

日医ニュース

2024. 11. 20 No. 1515

日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail www.info@po.med.or.jp
https://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



トピックス

- 定例記者会見 …… 2～3面
- 医療機関・薬局での資格確認とレセプト請求 …… 6面
- 勤務医のページ …… 8面

日本医師会設立77周年記念式典並びに医学大会

長きにわたり医学・医療の発展に

貢献してきた功労者を顕彰



日本医師会設立77周年記念式典並びに医学大会が11月1日、鰐淵洋子厚生労働副大臣、高橋英登日本歯科医師会長、岩月進日本薬剤師会長出席の下、日本医師会館大講堂で開催され、長きにわたり医学・医療の発展に貢献した功労者を顕彰した（被表彰者一覧は別掲参照）。

の発展や社会福祉の向上に貢献してきた功労者に敬意を伝えたい。

また、医療行政について触れ、少子高齢化の進む現在、将来にわたって質の高い医療を提供していくための改革を進める重要な時期にあるとし、「厚労省としても、医師偏在対策や新たな地域医療構想、医療分野

の質上げ、医療DXの実現等を推進しているところである。引き続き日本医師会と議論を重ねながらより良い医療のための取り組みを進めていく」と強調した。

冒頭、あいさつした松本吉郎会長は受賞者に敬意を述べ、設立77周年を迎えた日本医師会について、「多事多難な時代の中でも、常に地域医療の確保に専心してきた先達の真摯な姿が、今日までの歴史を築いてきた」と述べ、「その歴史の重みを受け止めながら、執行部一同今後も精励していく」と強調。

その上で、人口減少と高齢化率の上昇が進む日本の現状について触れ、国民皆保険制度を基盤とした医療提供体制の強化と、地域における医療・

介護の切れ目のない連携がますます重要となっているとし、「日本医師会には更なる組織強化を原動力に、誰もがどこでも必要かつ十分な医療を継続的に受けられるよう、社会保障制度の安定性と持続可能性の確保に努めていく」として、引き続きの理解と協力を求めた。

来賓あいさつをした鰐淵厚労副大臣は、能登半島地震等の災害への対応並びに次なる感染症危機への備えに向けた日本医師会の活動に謝意を示すとともに、日本医師会の発展に長年尽力し、医療

会を中心とする医師会組織のより強固な団結が求められていると指摘。日

日本医師会最高優功賞

◆在任6年 都道府県医師会長



池端幸彦 (福井)

◆医学、医療の研究又は地域における医療活動により、医学、医療の発展又は社会福祉の向上に貢献し、特に功績顕著なる功労者(都道府県医師会長推薦)

◆医学・医療の発展に貢献した功労者



土屋和弘 (静岡)

◆地域における保健医療活動に貢献した功労者



佐々木悦子 (宮城)



大内通江 (香川)

本医師会に対して、「一人生100年時代における国民の命と暮らしと尊厳

日本医師会優功賞

◆在任10年 日本医師会委員



名嘉恒守 (沖縄)

◆社会福祉の向上に貢献した功労者

◆医師会事業に著しく貢献した功労者



橋本 修 (滋賀)

◆医師会事業に著しく貢献した功労者



松倉則夫 (茨城)



水谷元雄 (埼玉)

を守るため、更なる強い指導力を発揮して頂きたい」と期待を寄せた上で、

日本医師会優功賞

◆在任10年 日本医師会委員



石川 紘 (岡山)

◆DOCKファミリー分子の生体機能と動作原理に関する統合的研究

◆がんの正確な情報発信と研究体制整備によるわが国のがん対策推進の礎となる体制づくりへの貢献



今井義禮 (徳島)

◆個別化がん治療に必要なバイオマーカー研究による世界初がんエピゲノム体外診断薬の開発



川崎 洋 (福岡)

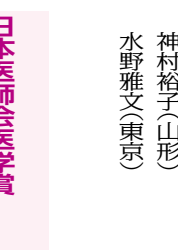


池田 徹 (鹿児島)

吉田松陰の言葉を引用しながら、引き続き医師会活動等を通じ、地域医療の向上のために努めていく姿勢を示した。

日本医師会優功賞

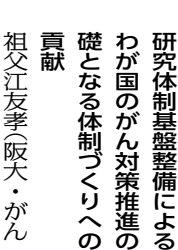
◆在任10年 日本医師会委員



石川 紘 (岡山)

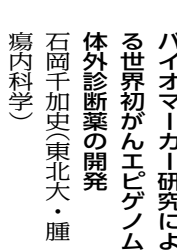
◆シングルセルとゲノムの統合解析による全身性強皮症の血管病変の病態解析

◆石川優樹(理化学研・リウマチ・膠原病)

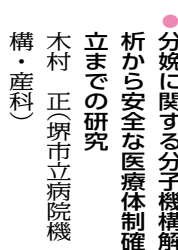


今井義禮 (徳島)

◆祖父江友孝(阪大・がん疫学・公衆衛生学)



川崎 洋 (福岡)

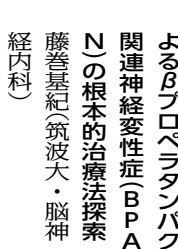


池田 徹 (鹿児島)

◆血管炎症・免疫制御メカニズムの解明に基づく動脈硬化性疾患の克服

日本医師会医学研究奨励賞

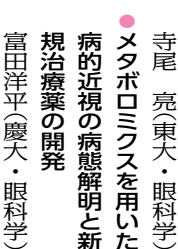
◆在任10年 日本医師会委員



石川 紘 (岡山)

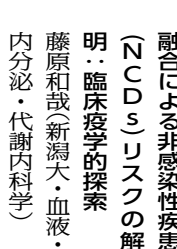
◆脂肪肝縮症における眼合併症および眼内脂質代謝異常のメカニズム検証

◆寺尾 亮(東大・眼科学)

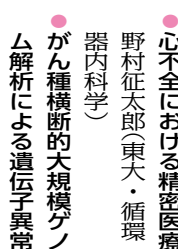


今井義禮 (徳島)

◆富田洋平(慶大・眼科学)



川崎 洋 (福岡)

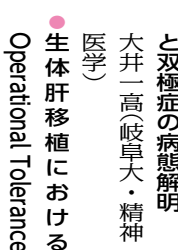


池田 徹 (鹿児島)

◆ミトコンドリア電子伝達系リモデリングをターゲットとした糖尿病関連腎臓病の新規治療戦略

米寿会員

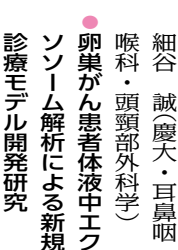
◆在任10年 日本医師会委員



石川 紘 (岡山)

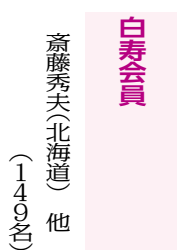
◆生体肝移植におけるOperational Toleranceを目指した個別化免疫抑制療法の開発

◆田嶋哲也(京大・肝胆膵・移植外科)

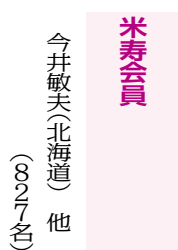


今井義禮 (徳島)

◆霊長類モデル動物を用いた霊長類特異的な感覚難聴の分子生物学的メカニズムの解明と新規治療標的の探索



川崎 洋 (福岡)



池田 徹 (鹿児島)

◆心不全における精密医療

白寿会員

◆在任10年 日本医師会委員



石川 紘 (岡山)

◆富田洋平(慶大・眼科学)

◆寺尾 亮(東大・眼科学)



今井義禮 (徳島)

◆藤原和哉(新潟大・血液・内分泌・代謝内科学)



川崎 洋 (福岡)



池田 徹 (鹿児島)

医師の働き方改革と 地域医療への影響に関する 調査結果を公表



今回の調査は8月20日～9月2日で実施したものであり、調査対象は全国の病院及び有床診療所の合計1万4216施設。回答があったのは4082(病院2960、有床診療所1122)施設で、回答率は28.7%であった。

城守常任理事は、「医師の働き方改革と地域医療への影響に関する日本医師会調査(制度開始後調査)についての集計結果を取りまとめたことを報告し、その内容について説明を行った。」

全医療機関(有床診療所+病院) (n=4,082) ※複数回答

新規調査項目

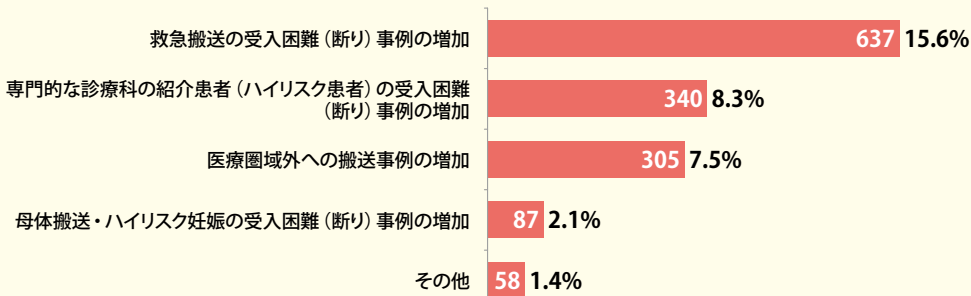


図 地域の医療提供体制で実際に生じていると考えている問題点について【全医療機関】

(1)では、「管理者(病院長)の業務負担」「教育・指導体制」「周産期医療体制」について、今回調査の結果と制度開始直前の調査結果を比べると、調査客体が異なるものの、懸念されていたほど大きな影響は生じていないとした。

(2)では、「小児医療体制」「救急医療体制」「手術件数」「宿日直体制」「外来診療体制」について、いずれの結果も大きな影響は生じていないとする一方、手術件数が減少していることについては、「働き方改革の影響以外にもさまざまな要因が考えられるがその中には、小児及び救急医療体制の縮小及び撤退の検討が進んでいることがあるのではないか」との懸念を表明。その他、宿日直や外

来診療の体制についても、働き方改革の影響が多少なりとも及んでいると思われるとの見解を示した。

(3)では、①医師を派遣している②医師の派遣と受け入れの双方を行っている——医療機関に分けて集計した結果を報告。

①では、「医師の引き揚げによる影響」「宿日直の応援医師の派遣」について、現時点では引き揚げる医師数の増加や、宿日直の応援医師の派遣を制限する事例の増加が直前調査に比べて若干大きくなっているが、令和7年度以降には、引き揚げる医師数や宿日直の応援医師の派遣制限事例が増加するとの見込みが、直前調査より小さくなることが見込まれているとした。

②では、現時点や令和7年度以降のいずれにおいても、引き揚げにより医師数が減少する、宿日直の応援医師の確保が困難になるとの見込みが、直前調査より小さくなることが見込まれるとした。

また、「地域の医療提供体制で実際に生じていると考えている問題点」については、病院、有床診療所共に「救急搬送の受入困難(断り)事例の増加」に大きな懸念をもっているとした他、「専門的な診療科の紹介患者(ハイリスク患者)の受入困難(断り)事例」及び「医療圏域外への搬送事例」の増加についても懸念をもち、(図)、「地域の医療提供体制で懸念される問題」として「救急医療体制②周産期医療体制③専門的な医療提供体制④小児医療体制」の縮小・撤退等があるとした。

これらの調査結果を受け、城守常任理事は、「現時点では、全体的に想定したほどの影響は出ていないと言えるのではないかとしつつ、医師の引き揚げ増加や宿日直の応援医師の確保の困難さが、各医療機関の医療提供体制にどのような影響を及ぼすのか、また各地域の医療提供体制に及ぼす影響や、地域で実際に生じていると考えられる問題点がどのように変化していくかについても注視深く見守る考えを示した。

更に、今回の結果については、「各都道府県医師会には都道府県別集計をフィードバックすることで、行政と共有することや、地元での医療機関への支援のための検討材料として活用して欲しい」として、日本医師会として、今回の調査結果を基に国

今後の状況を注意深く見守っていく

医師会会員情報システム(MAMIS)の公開について



松本吉郎会長並びに笹本洋一常任理事は、会見当日(10月30日)に公開した医師会会員情報システム「MAMIS」(マミス)について、その概要を説明した。

松本会長は、まず、「日本医師会長に就任して以来、最優先課題として医師会の組織強化に取り組んできた」と述べた上で、会内の医師会組織強化検討委員会からの提言を基に検討を進めてきたMAMISについて、長年、紙でやり取りされてきた医師会の入会・異動・退会などの手続きのWEB化を実現する仕組みであることを説明した。

また、「今回の公開に至るまでに、昨年12月の開発開始に先立って行われた会員情報管理の現状についてのヒアリングや、MAMISの理解促進のため、本年5月から各ブロックや都道府県医師会で合計49回開催した説明会など、多数の都道府県医師会並びに郡市区等医師会に協力頂いたこととして、深い感謝の意を示した。

MAMISの機能については、「公開日時点では、最大の目的である入会などの諸手続を行う機能に限定されているが、順次機能拡張を行っていく」とした上で、「今後は医師の先生方、医師会事務局双方の利便性の向上、効率化の実現を目指していく。また生まれ替わりのMAMISを大きく成長させて、全国の医師会業務のDX化に寄与したい」と意欲を示した。

引き続き、担当の笹本

常任理事がMAMIS構築の経緯を含め、その詳細について解説した。

同常任理事は、会内の医師会組織強化検討委員会より、「全国の会員・医師会が共通で利用可能な入会・異動等のWEB手続きシステムの構築」の提言を受け、全国の都道府県医師会並びに郡市区等医師会などの協力を得ながら開発を進めてきたことを説明。MAMIS開発の背景として、これまでの日本医師会への入会等の届け出は、複写式届出用紙を用いて郡市区等医師会と都道府県医師会を経由し、例年4万件以上を日本医師会で受領しており、医師会の三層構造全体では年間12万件超の届け出が全国医師会において処理されていることから、そのための事務局負担は非常に大きく、医師の届け出に係る負担も大きかったことが挙げられるとした。

MAMISで可能になることとしては、各自の情報を管理するマイページを通じて、入会等の申請をWEB画面上のポータルサイトから行うことができることを挙げるとともに、その利用対象は、日本医師会の会員ばかりではなく、全医師会とその所属会員並びに各医師会が開催する研修会等に参加する非会員医師となっていることから、日本

MAMISに関する問い合わせ先

医師会会員情報システム運営事務局 (コールセンター)

inquiry@mamis.med.or.jp

0120-110-030

(受付時間: 平日10:00~18:00 ※土・日・祝日・年末年始を除く平日)



MAMIS 情報共有サイト

医師会の呼び掛けに応じた各医師会に関する情報及び会員情報が格納されることになるとした。

また、その機能については、当面、入会・異動・退会の手続きのWEB化に注力した、機能が制限された状態での試行的運用となるが、2025年4月を目標に、利用者が「生涯教育」から「認定健康スポーツ医」等「認定健康スポーツ医」等の研修会の参加申し込みから、受講管理・単位管理、取得単位を基に認定申請まで行える研修管理機能を追加する予定であることを明らかにした。

更に、今後は会費に関する計算機能や減免申請など、利用状況等も鑑みながら順次機能を拡大していきたいとした。

その上で、笹本常任理事は、MAMISの活用により会員の手続き負担が軽減し、ペーパーレスの促進により医師会業務のDX化を図ることで組織強化の一助にもつなげることが可能になるとする。同時に、各医師会の会員情報消失の防止や災害対策等にも貢献できる。MAMIS活用

第45回産業保健活動推進全国会議

産業医の質と量 両面での一層の向上を目指して

第45回産業保健活動推進全国会議が10月24日、日本医師会館大講堂で、WEB会議システムを用いてハイブリッド形式で開催された。

開会に先立ち、福岡資麿厚生労働大臣（代読：佐々木孝治厚生労働基



準局安全衛生部労働衛生課長）、松本吉郎会長、大西洋英労働者健康安全機構理事長、相澤好治産業医学振興財団理事長がそれぞれあいさつを行った。

松本会長は、新型コロナウイルス感染症の影響により、産業医研修会の開催縮小などさまざまな不便がある中で、産業医活動に取り組んだ認定産業医の方々へ改めて謝意を示した上で、労働者のメンタルヘルス、高齢労働者の安全衛生、治療と仕事の両立、女性就業者の増加に伴う女性の健康課題、化学物質による健康被害など、産業医が働く人々のために対処すべき課題が多様化していることと言及。労働者の

健康を守る産業医に期待される役割は、これからますます重要になるとした上で、「日本医師会認定産業医制度は、労働者の健康を守ることを通じて、日本の産業社会が将来にわたり発展していくための基盤であり、認定産業医の社会的評価を今後一層高めるためにも、量と質の両面での更なる向上が期待される」と述べた。

また、「一般健康診断と、ストレスチェック制度に関する二つの国の検討会の中間取りまとめについても報告。一般健康診断では、女性特有の健康課題に関する問診を追加することなどが提案された他、ストレスチェック制度については、50人未満の事業場への義務化が適当とされたが、実施マニュアルの作成や体制強化が今後の課題である」とした。

中央情勢報告

中央情勢報告では、佐々木厚生労働基局長が中規模事業場（労働者数30〜49人）を対象とした産業医活動支援モデル事業を紹介。地域産業保健センターが市区等医師会と協力し、登録産業医を事業場とマッチングさせ、産業医によるパッセージ支援を提供することとなっているが、その中で、「必須のサービスとして」「産業医と事業者の意見交換」を、選択的サービスとして「職場巡視や健診結果の意見聴取」などを実施すること

松岡かおり常任理事は「認定産業医の資質向上の必要性と全国における産業医研修会の傾向」と題して講演した。

同常任理事は、コロナ禍で研修会の開催数が大幅に減少したことから、認定産業医の更新期限を延長する特例措置が取られていたが、2028年3月末をもってこの特例が終了することを説明。更新率が85%程度で推移すると、通常の更新者に加え、今後4年間で約1800人が更新を行う見込みであり、更新率が90%を超える4000人近くが更新する可能性があるため、受講希望者の大幅な増加に対応できるように研修会の確保が必要となっているとし、「その対応策として、都道府県医師会においてはWEB研修会の実施、サテライト会場の設置、日本医師会の助成金活用、関係団体との協力、受講定員数の増員など、さまざまな対策を講じて頂きたい」と要請した。

引き続き、笹本洋一常任理事が司会を務め、「産業医の資質向上に向けた研修会の開催について」をテーマとしたシンポジウムが行われた。

中岡隆志労働基局長は、産業医研修会の開催に向けた施策について、認定産業医の研修実施状況や実地研修など、さまざまな形態の研修が行われている他、職場巡視を含む実地研修なども取り入れられているとした。

シンポジウム

引き続き、笹本洋一常任理事が司会を務め、「産業医の資質向上に向けた研修会の開催について」をテーマとしたシンポジウムが行われた。

中岡隆志労働基局長は、産業医研修会の開催に向けた施策について、認定産業医の研修実施状況や実地研修など、さまざまな形態の研修が行われている他、職場巡視を含む実地研修なども取り入れられているとした。

お知らせ

日本医師会シンポジウム 受け継がれる北里柴三郎の志

～新千円札発行を記念して～

9月15日に開催した日本医師会シンポジウム「受け継がれる北里柴三郎の志～新千円札発行を記念して～」の動画を11月1日より日本医師会公式YouTubeチャンネルで掲載しています。

ぜひ、ご覧下さい。



YouTube



掘江正知産業医科大学副学長は、「認定産業医の知識・能力の維持と向上が重要だ」とした上で、認定産業医の研修実施状況の分析結果から、産業医学の本質的な内容を扱う研修が不足していることを問題視。地域医師会の研修を支援するため、日本医師会を通じて地域医師会から産業医科大学に講師派遣を依頼する仕組みを設け、講師派遣の申し込みフォームの試行運用を令和7年度から開始する予定であることを明らかにした。

続いて、笹本常任理事が、医師会会員情報システム「MAMIS」（10月30日公開）について、

その後、堀江産業医科大学副学長の司会の下に、佐々木厚生労働基局長、松岡常任理事、中岡労働者健康安全機構理事長、井上産業医学振興財団事務局長の4名が、埼玉県、新潟県、大阪府、奈良県の各府県医師会から事前に寄せられていた質問に対する回答を述べた。

質疑応答

その後、堀江産業医科大学副学長の司会の下に、佐々木厚生労働基局長、松岡常任理事、中岡労働者健康安全機構理事長、井上産業医学振興財団事務局長の4名が、埼玉県、新潟県、大阪府、奈良県の各府県医師会から事前に寄せられていた質問に対する回答を述べた。



日本医師会キャラクター

日医君公式グッズ販売中!

ご購入はコチラから
<https://bit.ly/3J5M2H8>




日本医師会
総務課 03-3942-6481 / 03-3942-6477・人事課 03-3942-6493・施設課 03-3942-7027・国際課 03-3942-6490・介護保険課 03-3942-6491・広報課 03-3942-6483・情報システム課 03-3942-6133
（会員情報室）03-3942-6482・電子認証センター 03-3942-7050・地域医療課 03-3942-6137・医療技術課 03-3942-6478・日本准看護師推進センター 03-3942-7276・医事法・医療安全課 03-3942-6484 / 03-3942-6506・医賠責対策課 03-3942-6133

松本会長

日本健康会議2024で健康経営に関する
日本医師会の取り組みについて講演



松本吉郎会長は10月30日、都内で開催された「日本健康会議2024」に、日本健康会議の共同代表として出席。「健康経営に関する取り組みについて」と題し、日本医師会による健康経営に関する取り組みについて講演を行った。

当日は、小林健日本健康会議共同代表／日本商工会議所会頭が冒頭にあいさつ。続いて、来賓の福岡資厚厚生労働大臣、武藤容治経済産業大臣、加藤勝信財務大臣がそれぞれあいさつを行った。

武藤経産大臣は、平成28年度に開始された「健康経営優良法人認定制度」について、認定企業数は順調に増加を続けており、昨年度時点の認定企業数は1万6700社余りとなったこと等を報告。その上で、労働環境

の改善や生産年齢人口の維持に貢献することが期待される同制度について、今後もその拡大に注力していく意向を示した。

加藤財務大臣は、自身が立場を変えながらも日本健康会議に関わり続けていることに加え、国、経済界、医療団体、保険者、自治体と、多様な関係者が参画することで、健康経営のみならず、健康づくり、健康なまちづくりといった考え方も一般化してきたとして同会議の意義を強調した。

次に、渡辺俊介日本健康会議事務局長が「健康づくりに取り組みむ5つの実行宣言2025」の各項目の2024年における達成状況を報告した。

引き続き、松本会長が「健康経営に関する取り組みについて」と題して、(1) 日本医師会とは、(2) 健康経営の取り組み、(3) 社会に向けた健康に関する情報発信について講演を行った。

(1)では、日本医師会の成り立ちと会員数、都道府県、郡市区等医師会との関係性並びに医師会が果たしている役割等について説明した。

(2)では、日本医師会が健康経営優良法人として認可されるべく2018年度から活動を開始し、現在、5年連続で認定されていることを報告。更に、具体的な健康経営の取り組みとして、①特定保健指導の実施率改善②職員への情報提供・研修実施③ストレスチェックの有効活用④参加型イベントの開催による運動習慣定着⑤社員向け施設の充実化——等を紹介した。

特に「女性の健康課題」についてのオンラインセミナー「シリーズはいずれも20万回前後の視聴回数」となっている他、釜淵敏副会長が、女子高生とその保護者との対談形式で子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)のキヤッチアップ接種の推進を呼び掛ける動画が、多く視聴されていることを報告した。

その他、「世界禁煙デー」に合わせた東京タワーのライトアップイベント、キッザニア東京への期間限定出展等の健康啓発活動も紹介。引き続き日本医師会として、各地の医師会や医療法人が健康経営優良法人を取得するよう働き掛けを行っていく意向を示した。

市場を2050年に77兆円、(3) 世界市場のうち日本企業の医療機器獲得市場を2050年に21兆円——にすることを目指していることを紹介。その上で、世界に先駆け高齡化と人口減少が進んでいる日本においては、今後、健康寿命の延伸とともに、人々の健康増進や医療の質の高度化等に貢献する産業市場の拡大が重要になると指摘した。

また、2040年時点での健康寿命を75歳以上に延伸することで、生産年齢人口減少がある程度カバーできる見通しを示した他、日本に遅れて高齡化が進行する諸外国において、ヘルスケア分野で新たな需要を創出できる

可能性などを強調した。更に、制度の開始から10年を経た健康経営が企業等に与えている影響について概説。健康経営度調査の回答を経年で見た場合、①コロポヘルスや働き方改革関連法と連携②経営トップのコミットメントの大幅な増加③健康経営に関する取り組みを開示する企業の増加④社員の喫煙率低下——等の良い影響があることが明らかになってきているとした他、今後の展望について、デジタル技術を活用した健康経営の可視化、健康経営の拡大に伴う新たなマーケット創出、国際的なPR、小規模法人への浸透・定着等に国として取り組んでいく意向を示した。

お知らせ

「新型コロナウイルス感染症対応
日本医師会休業補償制度」の
休止について

「新型コロナウイルス感染症対応 日本医師会休業補償制度」が、令和7年1月1日に満期を迎えます。令和2年11月の制度発足以来、数多くの会員に補償金をお届けすることができ、医療機関の経営の安定化に寄与したと考えられますが、その一方で(1) 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことも影響し、足元では加入者数が大きく減少している、(2) 現在の加入施設の約25%が過去に補償金を受領しており、特定の会員のための制度という傾向が強くなっている——こと等の現状に鑑み、現在の契約は更新せずに制度として一旦休止させて頂くこととなりましたのでお知らせいたします。

- ◆問い合わせ先：
①制度全般に関して
日本医師会 休業補償制度事務局
☎03-4332-4013 [平日9:30~17:00 (土日・祝日は除く)]
✉jmabi2020@web-tac.co.jp
②補償金請求に関して
東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部
☎03-3515-4414 [平日9:00~17:00 (土日・祝日は除く)]
✉jmabi2020@tmnf.jp

開設者である医療法人が損害賠償請求を受けた場合の備えは大丈夫ですか？

日医医賠償保険は会員個人を対象としているため、法人に対して損害賠償請求を受けた場合、保険金が支払われない場合があります。

日医医賠償特約保険では、開設者である医療法人に対して損害賠償請求がされた場合にも保険金支払い対象となります。

日医医賠償特約保険 中途加入のおすすめ

日医医賠償保険の特色を継承し補完する日医A会員の任意加入保険です

加入を
おすすめする
A会員

法人の責任部分の賠償にも備えたいA会員

非A会員が起こした医療事故につき、開設者・管理者としての賠償にも備えたいA会員

高額賠償の支払い(1事故3億円、保険期間中9億円まで)に備えたいA会員



詳しくはこちら



日医医賠償特約保険の内容・依頼書の入手については日本医師会ホームページをご覧ください。

https://www.med.or.jp/doctor/ibaiseki/ (上記2次元コードからもご覧頂けます)

医療機関・薬局での資格確認とレセプト請求（令和6年12月2日以降の取り扱い）

本年12月2日より現行の健康保険証の新たな発行が停止されます。それに伴って、10月31日に開催された社会保障審議会医療保険部会では、現場での混乱を防ぐため、医療機関・薬局における資格確認とレセプト請求に関するフローチャート（下掲）が示されましたのでご紹介いたします。本件に関する詳細は下記までお問い合わせ願います。

◆問い合わせ先：オンライン資格確認等コールセンター ☎0800-080-4583（通話無料）
月～金曜日（祝日を除く）8：00～18：00 / 土曜日（祝日を除く）8：00～16：00

マイナンバーカードをカードリーダーにかざすようご案内下さい

マイナンバーカードを持っていない方の場合

確認できた

何らかの事情でオンライン資格確認を行うことができなかった場合

問題なし

患者が提示可能な場合

再診の場合

初診の場合

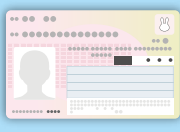
健康保険証
(～2025.12/1)



資格確認書
(2024.12/2～)



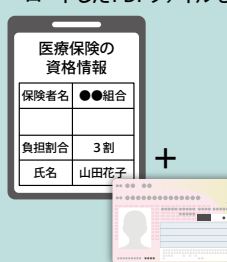
マイナ保険証



※追加で保険証の提示は不要

※電子証明書の有効期限後3カ月間は資格確認可

マイナポータル画面
※マイナポータルからダウンロードしたPDFファイルも可



※追加で保険証の提示は不要


資格情報のお知らせ



※追加で保険証の提示は不要

過去の受診で請求に必要な資格情報を把握していれば、患者への口頭確認

被保険者資格申立書



(事後に確認)

患者には適切な自己負担分（3割分等）の支払を求めて下さい

上記の方法で確認した被保険者番号等を入力して、レセプト請求して下さい

※オンライン資格確認等システムから資格情報をダウンロードしておくことで、事後的に被保険者番号等の確認が可能です

以下の①→②→③の順に可能な方法を選択してレセプト請求して下さい

- ①患者からの聞き取りや過去の受診歴等から確認できた「現在」の被保険者番号等を入力する
- ②オンライン資格確認における「資格（無効）」画面や過去の受診歴等から確認できた「過去」の被保険者番号等を入力する
→資格無効の場合には喪失した「旧資格情報」で請求して下さい
- ③被保険者資格申立書に記入された患者の住所・連絡先等を摘要欄に記載の上、被保険者番号等は不詳として「7」を必要な桁数分を入力する
→資格情報なしの場合には「不詳レセプト」として請求して下さい

社会保障審議会医療保険部会（2024年10月31日開催）資料より改変

案内

令和6年度 第3、4回産業医Web研修会



◆主催：日本医師会
◆開催日時：
第3回：12月19日（木）午後6時30分～8時35分
第4回：12月20日（金）午後6時30分～8時35分
◆開催方法：WEB（日本医師会Web研修システムによる配信）
◆受講資格：日本医師会認定産業医
※受講資格が無い場合でも、キャンセル期間後の返金対応は行いません。
◆受講人数：各回2000名（先着順）。定員に達し次第終了となります。
◆受講料：各回共に日本医師会2000円、非会員3000円（いずれもクレジット決済のみ）
◆取得単位：
第3回：認定産業医制度生涯研修3単位、日本医師会生涯教育講座3単位
第4回：認定産業医制度生涯研修2単位、日本医師会生涯教育講座2単位
◆申込期間：11月25日（月）午後12時～12月15日（日）午後11時59分
※Googleフォームでの申し込みは締切が異なるため、申込ページでご確認下さい。
◆申込方法：日本医師会Web研修システムより、必ずカメラ機能付きスマートフォンにて確認テストを実施します。
◆申込受付期間：11月25日（日）～12月15日（日）午前11時

のパソコン等を用いてお申し込み下さい。
◆プログラム：
第3回
・産業医のあり方（相澤好治北里大学名誉教授）
・産業医学概論（圓藤吟史大阪市立大学名誉教授）
・ストレスチェック制度：最新動向と産業医の役割（川上憲人東大名教授）
◆最新動向と産業医の役割（川上憲人東大名教授）
※内容は変更の可能性が
あります。
第4回
・労働衛生行政の動向（佐々木孝治厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長）
・治療と仕事の両立支援（永田昌子産業医科大学両立支援科学准教授）

※スマートフォンでの研修会受講はできません。
※申込ページより、当日の視聴環境（視聴パソコン、ネットワーク等）で、テスト動画の視聴・カメラ使用が可能であることをあらかじめ確認して下さい（確認ができない場合でも、キャンセル期間後の返金はいたしません）。
◆問い合わせ先：
①申し込み・視聴について：☎0570-0003-102（設置期間：11月25日（月）～29日（金）10時～17時、12月16日（月）～27日（金）10時～17時。ただし、12月19日（木）・20日（金）のみ、10時～21時。）、または申込ページ「主催者問合せ」のフォームより（随時）
②認定産業医制度について：日本医師会健康医療第一課（☎03-3942-6138（直）/04health@do.med.or.jp）

令和6年度 死体検案研修会（基礎）

◆主催：日本医師会（令和6年度厚生労働省死体検案講習会事業）
◆受講対象者：医師（会員・非会員を問わず）
◆定員：1000名
◆研修方法：e-learning形式。あらかじめ撮影した講義動画を、受講者専用サイトにて期間内に視聴、講義ごとに確認テストを実施します。
◆申込受付期間：11月25日（日）～12月15日（日）午前11時

◆申込方法：日本医師会Web研修システムより、必ずカメラ機能付きスマートフォンにて確認テストを実施します。
◆申込受付期間：11月25日（日）～12月15日（日）午前11時

※スマートフォンでの研修会受講はできません。
※申込ページより、当日の視聴環境（視聴パソコン、ネットワーク等）で、テスト動画の視聴・カメラ使用が可能であることをあらかじめ確認して下さい（確認ができない場合でも、キャンセル期間後の返金はいたしません）。
◆問い合わせ先：
①申し込み・視聴について：☎0570-0003-102（設置期間：11月25日（月）～29日（金）10時～17時、12月16日（月）～27日（金）10時～17時。ただし、12月19日（木）・20日（金）のみ、10時～21時。）、または申込ページ「主催者問合せ」のフォームより（随時）
②認定産業医制度について：日本医師会健康医療第一課（☎03-3942-6138（直）/04health@do.med.or.jp）



申込サイト

南から北から

愛媛県松山市医師会報 第358号より
エアポート快特 羽田空港行き
 日浅 豪



突然の喪失は、その場にいる者達に静寂と敬意をもたらす。TOKYO VALVESというTAVI（経力テール大動脈弁留置術）を中心とした構造的疾患の国際学会に参加した。その最終日に、その世界の巨匠であり、TAVIの父と称されたアラン・クリヒエ博士が逝去したとの訃報が場内に流れた。79歳という若さでの死は、80歳を超える患者が主な対象となるTAVIを世界で初めて成功させ、多くの患者がその恩恵に与っているというその偉大な業績を逆説的に際立たせた。虎ノ門の会場を後にし、新橋駅からエアポート快特羽田空港行きに乗った。静かな車内に座り、品川駅で多くの乗客が押し寄せてきた時、一人の老婦人が目に留まった。立ち上がり席を譲ったところ、「私は糞谷で降りるので、それまで座らせてもらいますね」と人懐っこい笑顔で言った。

「んっっ。この電車、京急蒲田まで止まりませんよ」「あれ、乗る電車、間違えちゃった」と可憐な声で会話せねばならず、周りの乗客の目（耳）が気にはなったが、旅の恥はかき捨てとばかり会話は盛り上がった。「どちらまで行くの?」「愛媛はいいところね」「子どもさんは?」「仲のいいご家族なのね。失礼ながらMMS E30点、Clinical Frailty Scale 2と診断した。品川を発って10分も経

た。若干耳が遠いために大きな声で会話せねばならず、周りの乗客の目（耳）が気にはなったが、旅の恥はかき捨てとばかり会話は盛り上がった。「どちらまで行くの?」「愛媛はいいところね」「子どもさんは?」「仲のいいご家族なのね。失礼ながらMMS E30点、Clinical Frailty Scale 2と診断した。品川を発って10分も経

た。若干耳が遠いために大きな声で会話せねばならず、周りの乗客の目（耳）が気にはなったが、旅の恥はかき捨てとばかり会話は盛り上がった。「どちらまで行くの?」「愛媛はいいところね」「子どもさんは?」「仲のいいご家族なのね。失礼ながらMMS E30点、Clinical Frailty Scale 2と診断した。品川を発って10分も経

大分県医師会報 第840号より
性懲りもなく……
 山上由理子



この原稿を書いているのは8月初旬ですが、毎年この時期の私は焦りと後悔にとらわれ始めます。と言つても、いい年齢になってから通い始めたピアノ教室の発表会が一日と迫ってくるからなのです。子どもの時に憧れたものの始めるに至らなかつたピアノですが、娘がレッスに通うタイミングでチャレンジしてみようと思ったところ、オンコールで休日でも遠出できない時にも自宅で楽しめること、そして始めたばかりの時期にはコツコツ練習さえすれば何となく進歩している実感が得ら

た。若干耳が遠いために大きな声で会話せねばならず、周りの乗客の目（耳）が気にはなったが、旅の恥はかき捨てとばかり会話は盛り上がった。「どちらまで行くの?」「愛媛はいいところね」「子どもさんは?」「仲のいいご家族なのね。失礼ながらMMS E30点、Clinical Frailty Scale 2と診断した。品川を発って10分も経

た。若干耳が遠いために大きな声で会話せねばならず、周りの乗客の目（耳）が気にはなったが、旅の恥はかき捨てとばかり会話は盛り上がった。「どちらまで行くの?」「愛媛はいいところね」「子どもさんは?」「仲のいいご家族なのね。失礼ながらMMS E30点、Clinical Frailty Scale 2と診断した。品川を発って10分も経

た。若干耳が遠いために大きな声で会話せねばならず、周りの乗客の目（耳）が気にはなったが、旅の恥はかき捨てとばかり会話は盛り上がった。「どちらまで行くの?」「愛媛はいいところね」「子どもさんは?」「仲のいいご家族なのね。失礼ながらMMS E30点、Clinical Frailty Scale 2と診断した。品川を発って10分も経

富山県松本市医師会報 第638号より
劣化という勿れ
 小林 大輝



セルビッジデニムを知っていますか? まるで通のように投げ掛けたこの質問だが、昨

年私自身が言われたことだ。新しいデニムを買おうと店内を物色していた時に、セルビッジの名を

冠した商品を見つけた。触り心地は不自然な程力チカチカで、均一な濃紺に染め上げられたその商品は正直私の好みではなかった。その硬さに不思議な顔をしていた私に気付いたのか、店員がおもむろに投げ掛けてきたのが冒頭の質問だ。デニムははくものの、特段こだわりがない私にそんな知識があるはずもなかった。

店員の懇切な解説曰く、セルビッジは昔のシヤトル織機で織ったデニム生地だという。現代のデニム生地と違い、大量生産をするのが難しい。現代の織機だと織りが早く、織り目が均一で、生地にストレッチ素材など与えることもできる。なのになぜ、わざわざ非効率で品質の安定しない昔の織機を使うのかという

と、当時のデニム染色で不均一な織り目だと、はき込むにつれ、その不均一さが特有の味のある色の落ち方をするというのだ。丁寧に数年間はき込んだ比較写真まで見せてくれ、その色落ちに心が奪われた。デニムという奥深い界限があるのは何となく認知してはいたが、初めてヒントが合った気がして思わずその商品を購入していた。

家に帰ってからはサイトや動画を見せたり、育て方を勉強した。どうやらはきはくほど擦れて色が落ちていくらしい

い。そこから毎日出勤時の相棒になった。今は少ししか色落ちはしていないが、「まだ」でき上がっていないという未知の感覚に心が弾んだ。

この新たな熱が冷めやらないうちに、ネットをサーフィンしていた私は革製品に遭遇した。革は何となく何年も持つイメージを持っていた。私自身、黒の革靴を何年も所有している。しかし、そんな中見つけたのはヌメ革だった。

ヌメ革とは鞣しの工程で着色や表面加工をほとんど施さず、本革本来の手触りや匂いを楽しむものだ。何と言っても、黒や茶のイメージが強い革だが未使用のヌメ革はベージュであり、時間が経つにつれ手の油や紫外線で濃い鉛色へと変化していく。より分かりやすい経年変化をするのだ。

買った段階で、まだでき上がっていないところに私はやはり惹かれ、早速ヌメ革を扱っている店に足を運んだ。そこには靴から鞆、時計に至るまでヌメ革で作られており、実際に経年変化している商品も見せてもらい私は恋に落ちた。

店内を見ているとFirst shoesと書かれた商品がちょこんと椅子に座っていた。サイズは12・5センチ。素材はもちろんヌメ革で作られていた。実は、私には昨年

娘が誕生している。もうすぐ1歳だ。すなわちもうすぐ歩き始める。妻とはどんな靴を買ってあげようかまさに話していた矢先のことであった。「なんて可愛い革靴、」。思わず声に出た。これは買ってあげたい。しかし値札を見るとなかなか手ごわいお値段。短い期間しか履けないしなあと悩んでいた時に、一緒に来ていた妻が寄ってきた。娘と一緒に育っていく靴なんだね。」と妻。

最近なぜ「育てる」とに惹かれるのだろうか疑問を感じていたのだが、そうか、経年変化していく流れで思い出が刻まれていくからなのかと腑に落ちた。長年使っていると愛着が湧いてくるモノ、それがもっと目に見えるに分かるから「育てる」ことが楽しいんだと。そう言えば父は最近盆栽にハマり始めた。少しずつ良い形に育てていくのが楽しいんだ。祖父も定年後畑仕事に興味だが、みずみずしく育った野菜を孫達が笑顔で食べられるのがうれしんだと。どうやら私も血は争えないらしい。

娘のFirst shoesを買った。履けなくなったら飾ればいい。店員に黒とベージュがあるがどちらにするか聞かれた。私は迷わずベージュと答えた。

（一部省略）

（一部省略）

勤務医のページ

南極・昭和基地における医療

第65次南極地域観測隊設営・医療 小田有哉



約60年にわたり観測が継続されている。

日本から昭和基地への人員・物資輸送は原則、南極観測船「しらせ」による1年に1度きりである。夏期間には人員・物資輸送、緊急医療搬送目的に東南極に基地を持つ12万回が共同運航している航空網、DROMLAN（Droning Maud Land Air Network）が利用でき

南極・昭和基地

私は第65次南極地域観測隊医療隊員として、2023年11月に日本を出発。オーストラリアまで飛行機で、オーストラリア・フリーマントル港から南極観測船「しらせ」で3週間かけて、日本から約1万4000キロメートル離れた南極・昭和基地に到着した。2025年2月初旬頃まで滞在する予定である。

昭和基地は1957年、第1次南極地域観測隊により、南極大陸から約4キロメートル離れた東オングル島に開設され

た。約60年にわたり観測が継続されている。日本から昭和基地への人員・物資輸送は原則、南極観測船「しらせ」による1年に1度きりである。夏期間には人員・物資輸送、緊急医療搬送目的に東南極に基地を持つ12万回が共同運航している航空網、DROMLAN（Droning Maud Land Air Network）が利用でき



医療隊員の仕事

昭和基地内の医務室は

夏期間には昭和基地に夏隊員と越冬隊員で約100人近くいるが、現在越冬期間は27人（うち女性3人）の越冬隊員のみで暮らしている。医療隊員は2人で、隊員の健康管理を行っている。

基地主要施設である管理棟内にある。医務室には手術室があり、過去には脊髄も麻酔下で行われた。検査機器はX線撮影装置、簡易的な生化学検査、血球検査、超音波検査装置がある。

日本では多職種による分業化が進んでおり、医師が検査機器や放射線機器を扱う機会は少なくなっているが、昭和基地には臨床検査技師や放射線技師はおらず、看護師もいない。医療隊員のみで実施しており、改めてチーム医療のありがたさを実感している。

歯科治療室もあるが、歯科医も不在であるため、医療隊員は出発前に歯科研修を行っている。クラウンやインレーが脱落することもあり、再接着している。

診療件数は年間200〜300件程度であり、整形外科、皮膚科疾患が半数を占めている。南極ならではの皮膚科疾患には、厳寒下での作業による凍傷がある。集団生活をしているため白癬が流行することもあり、早期発見・治療が重要である。

更に、水質検査を毎月行っている。以前に低温に適應したレジオネラ菌が検出されたこともあり、レジオネラ感染症の迅速検査キットを用意している。

また、医療隊員としても、一隊員として、昭和基地の維持管理をしなくてはならない。出発前に国内で重機の扱い方の講習を受けており、パツ

クホーやブルドーザーを扱い基地周辺の除雪を行う他、夏期間には新しい建物を建てる。

勤務医のひろば

現在の外科医周辺の景色

青森市民病院院長 豊木嘉一



当時は男社会で、働き方改革などは程遠い労働環境だった。そんな我々外科医周辺の景色はというと、まさに体育会系のセピア色が広がっていたと記憶している。私にとっては懐かしい景色だが、そして現在、30数年の時が流れ、この間に外科医を取り巻く社会的環境は大きく変化してきている。日本社会全体が多様性を受容しつつあり、医学部においても女性の割合が増えてきている。

私は1990年に弘前大学を卒業後、当時の弘前大学医学部外科第二講座（現在の消化器外科学講座）に入局した。

現に、弘前大学大学院の消化器外科学講座においても、この5年間に入局した若い外科医は19名で、うち7名は女性外科医である。

日本の観測隊は数多くの世界的な貢献があるが、その中でも1982年に忠鉢繁第23次南極地域観測隊員が、昭和基地でのオゾン全量観測値で9月から10月に掛けて大幅な減少を発見し、オゾンホールが発見につながったのは大きな成果の好例である。紫外線による人体への影響に関心が集まり、フロンガス規制が進んだ。基本データの継続的な長期観測が重要であり、現在も定常観測・モニタリング観測が続けられている。

2022年よりメインテーマ「過去と現在の南極から探る将来の地球環境システムの第X期6カ年計画が進行している。

地球全体の氷の90%を占める南極氷床の変動予測は、気候変動の将来予測に重要な要素であり、南極氷床が全て融解してしまうと約60メートルの海面上昇を引き起こす可能性さえある。

不確実な将来に、今こそ、

税優遇を活かして老後に備える一

国民年金基金

国民年金（老齢基礎年金）に上乗せする「公的な年金制度」です

ポイント

税制上の優遇措置

- 掛金は全額社会保険料控除の対象
- 受け取る年金にも公的年金等控除が適用
- 遺族一時金は全額非課税

【ご加入条件】

- 20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者の方
- 60歳以上65歳未満の国民年金に任意加入している方

※主に、個人立診療所の医師・従業員・ご家族などとなります。
※日本医師会年金（医師年金）に加入している方もご加入できます。



お問い合わせは下記どうぞ

全国国民年金基金

日本医師・従業員支部

☎0120-700650

HP上で24時間、資料のご請求・シミュレーション・加入申出のお手続きができます！



日本医師・従業員支部は、「日本医師会」を設立母体とする日本医師・従業員国民年金基金が移行した医師・医療従事者のための職能型支部です。